

- 上野たかし県議
- 小池 えつ子
- 加増みつ子市議
- 遠山ちえ子市議
- 鈴木きよし市議
- 関戸 勇 市議

明るい取手

2015年3月1日号

発行：日本共産党取手市委員会

◆日本共産党の見解を紹介します。

302-0011 茨城県取手市井野3-19-5

☎ 72-7816 Fax 72-7817

http://toride.jcpweb.net

ウェルネスプラザ 約22.5億円、施設も備品も民間事業者に提供・管理運営も丸投げ

建設費は天井知らずに20億6,000万円

取手駅西口前開発関係特別会計予算には、今年10月に供用開始を予定する「ウェルネスプラザ」と、隣接する「ウェルネスパーク」の管理運営に関する予算も計上されています。

年間1億2,500万円～1億5,600万円を民間管理

藤井市長は、施設の管理運営を民間事業者にゆだね（管理運営の代行）、3月2日には指定管理者の公募に着手するとしています。約22.5億円の施設と備品・消耗品も税金で整える施設を、民間の事業者に提

備品・消耗品費、駐車場整備で1億9,000万円

建設費に加えて施設に配置する備品・消耗品と合わせて駐車場が不足することから、新たに敷地外の2か

保健センター「ウェルネスプラザ」に統合移転

乳児・母子健診など子どもを産み育てる若い世代にとっても、市民の健康を守る上でも大きな役割を果たしているのが保健センターです。

す。建設事業費（地代含まず）は、2011年7月当初7億円からスタートし、2012年7月には12億円、2014年1月には20億6,000万円と膨れ上がってきました。

供し、管理運営も丸投げするものです。

党議員団は、2月23日市長に対し指定管理者の公募を中止するように申し入れました。

所に54台の駐車場整備費用と借地料が見込まれています。

野々井・藤代の2つの施設の統合でなくむしろ分散して、「身近なところで」というのが市民の願いです。

前年度比6%の予算規模拡大の要因は、子ども・子育て支援新制度への移行の関連費と学校耐震補強・大規模改造・空調設置工事関係予算計上によるものです。

アベノミクスで、中小企業の経営と市民の暮らしが深刻化する中、個人住民税減収の一方で、大企業向けの減税により税収減が見込まれています。ウェルネスプラザ関連では、管理運営をそっくり民間にゆだねるとんでもない内容で藤井市政のありようが問われます。

三月二日の市議会開会を前に、二月十三日取手市議会全員協議会が開かれ、355億7000万円、前年度比20億1000万円増（プラス6%）の一般会計予算案が示されました。

355億7000万円
2015年度取手市一般会計予算(案)

三月定例会
取手市議会

定例会は3月2日開会、3月23日閉会予定で開かれます。

党議員団は、安倍政権の強権政治と独断専行藤井市政から市民のくらしと安全を守って、街づくり・住宅問題、社会保障、産業、子育て・教育、平和等、一般質問などで藤井市政を質します。

【一般質問の予定】

- 3月4日午後＝鈴木・加増市議
- 3月5日午前＝関戸市議、午後＝遠山市議



加増みつ子市議

圧倒的多数の市民が反対の意思を示したウェルネスプラザ建設の問題点を明らかにし、際限なく税金投入するプラザの指定管理者制度導入やめよ。

小中学校統廃合後の跡地利活用は住民合意で進めよ。

保育新制度のもと保育料はどうなるか、公的保育の充実など保育行政について質問します。

「地方創生」というが、地域活性化対策として

① 経済効果
大のリフォーム助成制度

② 米価大暴落の今、農業問題を取り上げ、「消費税10%増税中止」「TPP」「農協改革」等について市長の政治姿勢を質問します。

また、排水問題、保健センター、障害者問題について質問します。

また、排水問題、保健センター、障害者問題について質問します。



遠山ちえ子市議



鈴木きよし市議

少子高齢化が進行する中、若者を対象にした他に例のない思い切った住宅政策を問うことを提案します。

また、日本を再び戦争する国に変える憲法違反の安倍首相のもと取手の子どもたちを守る教育のあり方を問います。

市道整備の遅れが深刻です。取手駅西口前一点集中開発の弊害を問います。

市道整備の遅れが深刻です。取手駅西口前一点集中開発の弊害を問います。



関戸 勇 市議

安倍内閣の社会保障費抑制で、介護保険料値上げなど、取手市民にどのような影響が出るのか。取手市政の対応。

建設残土の「埋め立て」で、虫は全滅し深刻な農業被害。住宅に迫る洪水被害の恐れに対する対応。

地域に自治の意識を育て、コミュニティーを大切にする街づくりをどう進めるのか。市長の姿勢をただします。

地域に自治の意識を育て、コミュニティーを大切にする街づくりをどう進めるのか。市長の姿勢をただします。

上野たかしの活動日記 No.3

総額1兆1,600億円の2015年度茨城県予算案が2月26日開会の定例県議会に上程されました。

過去最大規模の予算案は、消費税増税による増収増、外形標準課税の拡大を見込んだ増収等が含まれています。

◆住まいと生業の復興にこそ

大震災から4年。政府の復興集中期間は最終年です。しかし、常陸那珂港の耐震岸壁の整備など、大型事業に莫大な予算が使われます。

◆付け焼刃の地方創生

政府は昨年12月29日に県担当者呼び、「消費喚起、地方創生予算を補正で組みたい。全国で4,200億円、茨城県は42億円。至急使い道を示すように」と徹底したそうです。それを受けて、県は破綻したスカイマークの穴埋めに11億円、プレミアム商品券などに使っています。

人口減少の最大の原因は若者支援策が足りないこと、進学、就職、子育ての応援こそ、いちばんの「地方創生」ではないでしょうか。対案を示し有効な用途を求めていきます。

◆ムダな開発、破綻の穴埋めに

ハツ場ダム、霞ヶ浦導水事業は工事が再開され、公共事業費は1,465億円と前年比で26.5%増。新年度も大型開発中心です。売れ残りの工業団地



上野たかし県議会議員

の借金返済予算は、37億円としています。しかし、ここ5~6年は100億円程度の少なめの当初予算とし、毎年200億円以上を後で追加補正していくというもの。今回についてもどうかと気にかかります。こうした無駄な開発よりも、「高校卒業までの医療費無料化」「国保税1世帯1万円引き下げ」をと予算も示して県議選をたたかった者として、県民の願いにこたえた県政に転換する論戦を行う決意です。

◆県民運動と力あわせ実現

今回、「災害時10世帯以上なら全壊家屋300万円」などの国の制度に、1世帯からの県独自の制度ができました。特別支援学校の全教室(小、中学部)にエアコンが付き、県内産米粉パンを使った小中学校の給食補助、たくさんの署名の力で私学助成もわずかながら広がりました。

赤字中小企業にも納税せまる県予算



恒例となった、取手のひなまつり(期間は2月21日~3月3日)。市内各商店街では、手づくり雛やおひな様の段飾りの展示、各お店ごとの趣向をこらした催しなど、市民が楽しみました。

子供たちの雛祭りパレードにシャッターを切る若いお父さんお母さんの姿も多く見られました。

ひなまつりパレード 東商店街(2月21日)

日本共産党

街頭演説会

3月28日(土) 午前11時~
取手駅東口前



くらしを守る第1党に

小池えつ子

1月末から本格的に政策訴えのための街頭宣伝をスタートさせています。マイクで訴えていると、「今度は何があるの?」と不思議そうな顔をして通り過ぎる方がまだまだ多い印象です。そんな中でも、「共産党、伸びてよかったね!」「上野さんが県議になって本当によかった」「がんばれよ、もう共産党しかないぞ」と温かいエールをおくってくださる方々ともたくさん出会いました。

「共産党の議席が増えれば、地域で生きる人々の思いや願いが、市政に届く力が大きくなる」との思いは、私の中で益々強まっています。何としても市議会での議席を増やし、5議席となり「くらしを守る第1党」に・・・と思います。

これまでの医療・介護の職場の経験を活かし、市民の暮らしや・社会保障を守る市政とするために、みなさんと力を合わせがんばります。ご支援をよろしくお願い致します。



小池えつ子市議補欠選挙予定候補



県南水道議会で2月19日

学校等「受水槽」の水 災害時 使えるよう提案

市民に水を供給している県南水道の議会一般質問で、共産党の関戸議員は、県南地域はライフラインが長期間途絶えるような震度7クラスの直下型地震が想定されている。そうした地震では飲料水の確保が重要となる。県南水道企業団を構成する3市1町で、学校や公共施設、マンションなどの地上にある「受水槽」の水道水を使えるよう提案。

当局は「1075基の『受水槽』がある。各市町と連携、検討する」と答えました。